●目次●

1.調査研究の目的と概要

２．介護老人保健施設におけるユニットケアに関する研究

３．ユニットケアに関するアンケート調査

４．ユニットケアに関するヒアリング調査

（参考資料）

1.調査研究の目的と概要

全国の介護保険施設で、ユニットケアをはじめ小規模単位での処遇について様々な取り組みが始められたが、小規模単位での処遇は介護老人保健施設の基本理念である「明るく家庭的な雰囲気で」「家庭復帰を目指した」施設を展開する上で大変注目すべき考え方である。

小規模単位での処遇、すなわちユニットケアとは、ソフト面（ケア環境）の充実のみではなく、ハード面（建築環境）と融合してはじめて成り立つ。
そこで本調査研究において特にハード面に着眼して、ユニットケアを導入した介護老人保健施設の設計を行う際のポイントを増改築を含めて検討し、新設される施設だけでなく多数の既存施設への普及に寄与することを目的とする。

本報告書の概略は以下の通りである。

第2章ではユニットケアを成立させる為に必要な条件を整理した。
1節で介護老人保健施設におけるユニットケアの概念と介護老人保健施設で行うことの意義をまとめた。

2、3節でユニットケアを成立させる為の条件を、ソフト面とハード面の双方から検討した。
ソフト面においては入所者のグルーピングやスタッフ数の検討を行い、ハード面においてはユニットケアを前提として作られていない大半の現存施設に焦点をおき、その増改築によるユニット化のモデルスタディを斌みた。

第3章では、平成12年度の社団法人全国老人保健施設協会正会員に対して実施されたアンケート調査で「ユニットケアを故に実施している」と回答した施設を対象に「介護老人保健施設での小規壌単位処遇における設計のあり方に関するアンケート調査」を行い、その集計結果を示した。

第4章では、上記のアンケート対象施設のうち6施設を対象としてユニットケアに関するヒアリング調査を行い、各施設ごとにユニットケアに対する具体的な取り組み方をまとめた。

２．介護老人保健施設におけるユニットケアに関する研究(目次)

１．ユニットケアとは何か

２．介護老人保健施設におけるユニットケアの意義

1．入所者の組み合わせの設定
（1）1ユニットの人数
（2）介轟度によるグルーピング
（3）生活歴によるグルーピング
（4）入所期間について

2．ユニットケアに必要な看菱・介護聴旦数
(1)基準職員数
（2）ユニットケアに必要な看護・介轟職旦数の検討
（3）ユニットケアに必要なその他の専門職鼻
3．生活リハビリとユニットケア

３．ユニットケアを成立させる建築与条件と増改築案

1．敷地条件.
（1）敷地の広さ
（2）周辺環境の条件
（3）施設の設置形態とその特徴
2．ユニットケアに必要な諸室の設定
3．ユニットケアの建築的な留意点
（1）モデルユニットの設定
（2）生活リハビリに対応した設計上のポイント
（3）介護度に対応した設計上のポイント
4．既存施設でのユニットケア
（1）ユニット化に向けての主な流れ
（2）既存施設をユニット化する為の増改築案
事例1増築を伴う改修くA案
事例2増築を伴う改修（B尭）
事例3増築を伴う改修（C案）
事例4増築を伴わない改修（なのはな苑）
事例5増築を伴わない改修（エバーグリーン・イズミ）
事例6増築を伴わない改修（きのこ老健）

３．ユニットケアに関するアンケート調査（目次）0

１．調査概要

２．アンケート調査対象施設の概要

(1)入所定員数
(2)療養室の構成
(3)職員数
(4)入所者の平均在所数
(5)入所者一人当たりの床面積

３．ユニットケアの実施状況

(1)ユニットケアのスペース
(2)施設の開設年とユニットケアの開始時期
(3)ユニットケアの対象者
(4)ユニットケアの療養室の構成
(5) 1 ユニットの定員数
(6)職員配置
(7)介護体制
(8)プログラム内容別に見たケア単位
(9)各スペースの設置単位

４．ユニットケアの課題

(1)ユニットケアによる効果・影響
(2)入所期間別に見たユニットケアとしての対応
(3)ユニットケアを実施することの意義
(4)行政への要望